



TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成29年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成29年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot④

p11 クラブ活動紹介③⑤

p17 Campus Topics

p19 平成29年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

多様性を認識し自己を高める

保護者並びに大学関係者の皆様には平素より後援会への御理解と多大なる御支援をいただき誠にありがとうございます。

そろそろ学期末や卒業を迎える季節となりますが、学生の皆さんはそれぞれの進級、進学、就職を目前に控え、特に就職される学生の皆さんは新たな旅立ちに向け大きな夢と希望そして多少の不安を抱えながら過ごされていることと思います。

私自身は大学を卒業後、精密機器メーカーへ就職し生産技術者として新製品の開発や国内外生産拠点での生産立上げに長く携わってきました。

いつか海外で仕事をとの夢もありアメリカに約8年間駐在しましたが、御存知の通りアメリカは多民族国家であり、多くの人種、言語、文化が混在し、様々な考え方やバックグラウンドを持った人達が集まっています。そこで私なりに出した結論のひとつが『これがアメリカ、ここがアメリカ』ではなく『これもアメリカ、ここもアメリカ』ということでした。いわゆる『多様性』を自身の肌で実感したわけです。

たくさんの失敗や苦勞もありましたが、そこで得た知見や経験がその後の生き方や考え方に大きく影響したことは言うまでもありません。

現在、東京都市大学において進められている国際人材育成プログラムのTAPもまた、単なる語学研修ではなく、日本の外を見て経験することで多様性を認識し、自己を高める、まさに狙いはそういうところにあるのだと思います。

昨今、多様性という言葉が社会全体の様々な場面で使われており、多くの企業でもグローバル化が進み、多様性の中から新たな革新や価値を生み出そうとしています。野球チームに例えれば9人全員がエースで4番ではなく、状況に応じて役割を果たせるラインナップが重要ということでしょうか。

東京都市大学で学ぶすべての学生の皆さんが日々の活動を通し見聞を広める中で多様性を認識し、更に自己を高め、将来幅広く社会に貢献してくれるものと強く期待しております。後援会もバックアップしますので頑張ってください。



東京都市大学
後援会副会長

石垣 潤

大学と保護者との連絡会

取材レポート

この秋で51回目となる「大学と保護者との連絡会」が、9月2日(土)の地方5都市を皮切りに、全国20箇所の会場で今年度も開催されました。ここでは、その最終日となる10月7日(土)に行われた世田谷キャンパス、横浜キャンパス、等々力キャンパスでの連絡会の様子を、保護者の方々の感想を交え、ご紹介します。



毎年秋に開催される「大学と保護者との連絡会」は、本学が旧称・武蔵工業大学であった昭和42(1967)年から始まりました。平成元(1989)年以降は、後援会との共催となり、「保護者」、「学生」、「大学」の絆を深める東京都市大学ならではの個性的なイベントとして定着しています。

大学・学部の近況報告や学生たちの生活の様子、最新の就職状況などの報告に加え、担当教員と直接話ができるこの会は、「他の大学にはあまり見られない貴重な機会」、「大学の“現在”を把握できる」など、毎回好評をいただいております。

長雨が続けていた東京・横浜地区でしたが、当日は数日ぶりに天候が回復。午前中には雨も上がり、さわやかな秋風に包まれながら、世田谷キャンパス、横浜キャンパス、等々力キャンパスの3会場にて、今年度最後の連絡会が、多くの保護者を迎えて無事に開催されました。



受付時間前から多くの保護者が参集



都市大オリジナル商品にも興味津々

することも報告。その流れの中で、日本では69大学しかランクインしていない「THE世界大学ランキング2016-2017」において本学が980位内であること、さらに創立100周年(2029年)までに300位以内を目指すとの意気込みも語られました。

午後1時半からは工学部の連絡会がスタート。医用工学科の学科説明会では、学科主任の森晃教授によるガイダンスの後、教務担当の京相雅樹准教授が4年間の学修の流れ、「GPA(Grade Point Average)」による成績評価の仕組みや意義などを説明しました。続いて就職担当の桐生昭吾教授が登壇。平成30年度卒の就職協定において、就活開始時期が6月1日に変更になったことへの対応をはじめ、産業界の新陳代謝によって「いい会社」の基準が変化していることなど、就職戦線の現状について説明しました。また保護者の心構えとしては、子供たちと就職について話し合う際、「その会社に入って何がしたいのか? という目的意識まで鮮明にさせてほしい」と提案。それが、面接での重要な決め手になることを示唆しました。就職は保護者にとっても最大の関心事ゆえ、熱心にメモを取る姿も多くみられ、質疑応答も活発でした。

世田谷 CAMPUS

「世界大学ランキング」にもランクインした教育の質の高さ、将来性や実績を報告

世田谷キャンパスでは、「学科説明会」、「学年別説明会・懇談」、希望者に対する「個人面談」という流れで実施されました。

午前10時から知識工学部の連絡会がスタート。情報科学科の会場では、学科主任である横山孝典教授が研究のオープン化・融合化を目指す新研究・実験棟が来年3月に竣工されることなど、大学・学部・学科の近況報告を行うとともに、IoT(Internet of Things=モノのインターネット)時代を迎えて、ますます重要性を増してきた学科の学びを解説。続いて、教務担当教員、就職担当教員が、それぞれ履修・成績・卒業要件、就職の内定状況などについて、詳細な説明を行いました。

また、現在都市大が教育の質保証・キャンパス教育環境向上・ブランド力向上・大学運営向上の4つのプロジェクトからなる中長期ビジョン「アクションプラン2030」を策定・推進中であ



受付では担当職員が丁寧に対応
多くの資料も手渡されました



就職状況について熱心に説明する
医用工学科の桐生教授

横浜 CAMPUS

独自の教育体制および教育改革に学外からも高い評価

午前10時にスタートしたメディア情報学部情報システム学科の説明会では、中村雅子学部長が都市大の沿革と併せ、近年の発展的な成長を報告。同学部が理系の情報システム学科と文系の社会メディア学科の文理複合学部であることの強みを強調し、「従来のような文系・理系の枠組みではなく、文理一体型の総力戦によって問題に取り掛かなければならない」と力説しました。

続いて登壇した広田すみれ教務委員長は、単位制度や昨年度から導入しているクォーター制度(4学期制)について解説。また、ワンランク上の就職には大学院への進学も有効として、



横浜キャンパスの大教室もほぼ満席



和やかに語り掛ける吉崎真司学部長

推薦制度や費用などの詳細な説明を行いました。

午後1時半から始まった環境学部の説明会では、吉崎真司学部長が「都市大を世界レベルで認知される大学にする」との意気込みを語り、「教育の質保証」、「キャンパス・環境の質保証」、「大学のブランド力向上」、「大学の運営力向上」という4つの目的に沿って進めている改革の概要を説明しました。同時に都市大が平成28(2016)年度に、国の大学教育改革を推進している文部科学省の「大学教育再生加速プログラム(AP)」に採択されたことを報告し、先述の改革の有用性が評価されていることの一例としていました。

その後、学科ごとの担当教員が、カリキュラムや研修制度について解説。環境マネジメント学科と環境創生学科の長所を活かした手厚いキャリア支援についても報告がなされました。

最後は、一昨年度、昨年度に続く、外部講師の講演会。ソーシャルデザイン研究所の採用コンサルタントである渡邊剛氏が、都市大の就職率の高さ、それを可能としているサポート体制の充実ぶりを、客観的な立場から評価し、保護者の方々に紹介しました。

玉川ライズ内にある「夢キャンパス」で催された学部展の成功を例に、都市づくりを総合的に学べる環境と、その利点を伝えました。

また、グローバル時代に対応した教育プランにも言及。実践的な専門力を有した国際人の育成を目標とした「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」を中心に、海外研修制度や留学制度などの概要やメリットを紹介。「それらを経験した学生たちの成長が目覚ましい」と、教員として自らが実感している感想を交え、充実の体制をアピールしました。

続いて登壇した教務担当の川口英俊教授からは、単位制度や進級・卒業に際した注意事項などが説明されました。ここでも国際的に活躍できる人材の育成に触れ、特定の領域に特化した「I字型人間」と、自らの領域を持ちかつ他の領域にも見識がある「十字型人間」を対比した図表を提示。「十字型人間こそがグローバル時代に求められる21世紀型のスペシャリスト。学生にはぜひそこを目指してほしい。教員や友人、海外など、さまざまな人や場所に積極的にアクセスしてもらいたい」と、学生個々の学ぶ姿勢が重要であることを強調しました。

その後、就職、進学などの説明を終え、会場は教室から学生ホールへ。懇談、希望者への個人面談を経て、連絡会は盛況のうちに幕を閉じました。

なお、今年度の全国の連絡会へのご参加は1,521世帯2,068名。保護者と大学との強固なリレーションが学生の確かな糧となるよう、この会のさらなる発展と充実が期待されます。

等々力 CAMPUS

グローバルな活躍の礎を築く
21世紀型の教育体制やキャリア支援を強調

等々力キャンパス会場では、午後1時から都市生活学部と人間科学部の説明会がそれぞれ実施されました。

都市生活学部の会場では、川口和英学部長が学部の沿革と概要を説明。併せて、近年発展を続ける注目のエリア、二子



熱心にメモを取る参加者も



各教員の自己紹介も行われました

宇都宮 会場

大切な情報交換の場として

世田谷キャンパス 教育支援センター 谷出 杏介

平成29年度「大学と保護者との連絡会」宇都宮会場を、平成29年9月9日(土)午後1時30分より、チサンホテル宇都宮にて開催いたしました。当日は20世帯30名の保護者の方々にご出席いただきました。

本連絡会では、冊子とともにパワーポイントによるスライドを用いて、説明を行いました。最新の話題としては、本学が英国の高等教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション発表の「THE世界大学ランキング2016-2017」において、初めてランクインしことをご紹介いたしました。今回、日本の大学は980位以内にわずか69校しかランクインしていません。本学は、2年後の創立90周年、2029年の創立100周年に向けて制定された中長期計画「アクションプラン2030」において、2030年の同ランキング300位以内を目標としています。

平成30年3月、世田谷キャンパスに新しい研究・実験棟となるC1棟(仮称・鉄骨造地上4階建、延床面積7,917.46)が竣工する予定があることをご

紹介いたしました。

先端領域の研究に対する研究・実験棟とし、大空間の研究・実験室を用意し、研究のオープン化や研究者の相乗効果創出を実現できる環境づくりを目指しています。

なお、本事業も中長期計画「東京都市大学アクションプラン2030」の一環として行われ、フレキシビリティの高さを生かし、今後行う研究棟・実験棟の改修・改築の円滑化にも貢献いたします。

質疑応答の時間では、保護者の方々から、Uターン就職や大学院進学についての質問があり、活発な意見交換を行いました。今後とも保護者の方々と、積極的に情報を交換させていただき、より良い大学として発展させていきたいと思っております。

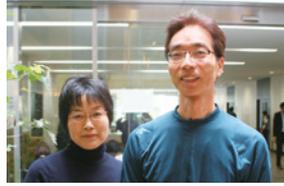


世田谷キャンパス



機械システム工学科 4年
小野寺 佳孝君のお父さん

就職も順調に決まり、一安心。インターンシップへの参加をはじめ、大学側のサポートに感謝しています。



原子力安全工学科 3年
三浦 孝祐君のご両親

就職か、大学院への進学か、本人も悩んでいるようなので、親として情報収集したいと思いつけました。



電気電子工学科 3年
鈴木 優希君のご両親

就職に向けて、担任の先生にじっくり相談しようと思ってきました。キャンパスの雰囲気も素晴らしいですね。



建築学科 2年
田邇 俊基君のお母さん

単位も順調に取れて、楽しく大学に通っています。個人面談の丁寧な対応で、その理由が分かりました。



都市工学科 1年
畠中 敦規君のお父さん

都市工学という学問を知り、息子とのコミュニケーションに活かそうと考え、話を聞きにきました。



情報通信工学科 4年
小坂橋 友晃君のお父さん

大学院に進学予定なので、どのような研究室があり、何を探究しているのかを聞きたく思いつけました。



経営システム工学科 3年
飯沼 愛永さんのお両親

毎年参加していますが、3年生なので、今回は就職の動向や支援体制を確認したいと参加しました。



自然科学科 1年
友森 峻介君のお母さん

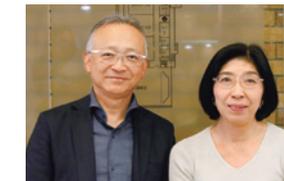
大学であっても保護者との関係性を大切にしているかを感じました。個人面談の丁寧な対応にも感謝しています。

等々力キャンパス



都市生活学科 3年
山崎 千織さんのお父さん

連絡会には毎年出席しており、行き届いた教育の体制を実感しています。今年は就職の話の聞きに来ました。



都市生活学科 3年
角野 廉君のご両親

群馬県から毎年参加。お陰さまで、息子はもちろん、私たちもあらゆる形で成長の機会をいただいています。



児童学科 1年
永本 愛玲奈さんのお母さん

娘が夢を叶えるために自ら選んだこの大学。初めてキャンパスに来たのですが、良い環境で安心できました。



児童学科 1年
岡田 雪乃さんのお両親

メディアでも活躍の早坂信哉教授のお話を聞いて、娘が挑むこれからの課題を把握することができました。

横浜キャンパス



環境創生学科 2年
佐藤 啓太君のご両親

息子と将来について語り合うことが多くなり、学校のカリキュラムの流れを再確認するために参加しました。



環境創生学科 1年
黒木 亮磨君のお母さん

1年目でわからないことも多いので、このような会があって助かりました。来年、再来年も参加したいです。



環境マネジメント学科 1年
中島 大樹君のお父さん

変化の激しい時代において、大学と保護者との連携を深めることは、非常に意義ある取り組みだと思います。



情報システム学科 1年
大坂 研人君のご両親

キャンパスが綺麗で駅にも近い。この環境であれば、4年間で大きく成長できそうだと感じました。



社会メディア学科 2年
齋藤 有希さんのお両親

2013年にできた学科なので、卒業生の進路・就職状況がどうなっているかを知りたいと思いつけました。



社会メディア学科 2年
滝 りりかさんのお父さん

連絡会に来るのは2回目。担任の先生との話を踏まえて、子どもに的確なアドバイスを与えたいと思います。

参加された保護者の方々の感想

就職環境の変化

企業の採用意欲は依然として高く、平成30年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.78倍(昨年1.74倍)となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数はわずかですが増加の傾向にあります。

またここ数年就職活動の時期が変更になっていますが、今年度は変更なく求人情報の公開時期は大学3年生の3月、採用選考時期は大学4年生の6月となり、短期間での活動が求められることとなりました。本学でもこの状況に対応すべく低学年時からのインターンシップへの参加支援強化やガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底、支援イベントの時期や内容変更をはじめとして、さまざまな対応を行ってまいりました。その結果、今年度も多くの学生から良い結果報告をうけることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなってきていると感じています。今後も引き続いて全学生に対して、準備の大切さを伝えていきたいと思っております。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×職業的態度×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まっています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援をはじめとするグローバル化への対応も一層進めております。

来年度、平成31年3月卒業生は採用選考時期が今年度と同様となる予定です。就職活動の時期の変更はありませんが、国内外の経済や政治の変動による環境の変化の可能性は高まっていると思います。学生が変化に戸惑わないように本学としても十分に対策をしてゆきます。保護者の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実

したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関することはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力で学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的にを行い、基礎から応用まで、幅広い支援をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを探索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

平成29年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の平成29年10月時点での国公立大学の平均内定率は「75.2%」となりました。本学では10月時点で学部生でも8割を超え、大学院生では約9割超の内定率となっております。人間科学部の保育業界志望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしてはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 主な就職内定先企業等

(平成29年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院 工学研究科		環境情報学部・環境学部・メディア情報学部 大学院 環境情報学専攻		都市生活学部・人間科学部 大学院 都市生活学専攻	
■ 輸送用機器 本田技研工業……………8 日産自動車……………5 スズキ……………5 三菱自動車工業……………5 SUBARU……………4 日野自動車……………4 いすゞ自動車……………3 ヤマハ発動機……………3 トヨタ自動車……………2 マツダ……………1 ■ 電気機器・精密機器 富士通……………9 三菱電機……………8 キヤノン……………8 セイコーエプソン……………8 富士電機……………8 日立製作所……………7 オリンパス……………6 NEC……………5 パナソニック……………3 ハイオニア……………3 浜松ホトニクス……………3 日本航空電子工業……………3 京セラ……………2 沖電気工業……………2 アルパイン……………2 ■ 情報通信サービス 日立システムズ……………6 NSD……………5	NTTデータ……………3 ソフトバンク……………2 NTT東日本……………2 SCSK……………1 ヤフー……………1 オールアバウト……………1 ■ 運輸 JR東海……………11 東京急行電鉄……………6 JR東日本……………5 ■ 建設 大成建設……………9 鹿島建設……………5 大林組……………5 東急建設……………5 清水建設……………3 積水ハウス……………2 竹中工務店……………2 ■ 公務 横浜市役所……………9 東京都庁……………4 国土交通省……………2 原子力規制庁……………2 厚生労働省……………1 ■ その他 凸版印刷……………6 東京電力ホールディングス……………5 都市再生機構……………1 NHK……………1 日本郵政……………1	■ 情報通信サービス NSD……………6 アルファシステムズ……………4 セブン&アイ・ネットメディア……………3 DTS……………3 日立ソリューションズ……………2 都築電気……………2 NECフィールディング……………2 NECソリューションイノベータ……………2 リコージャパン……………2 ヤフー……………1 NEC通信システム……………1 ソニーミュージックエンタテインメント……………1 ■ 製造業 NEC……………3 凸版印刷……………2 日立製作所……………1 スズキ……………1 本田技研工業……………1 沖電気工業……………1 スタンレー電気……………1 タカラスタンダード……………1 ユニチャーム……………1 池上通信機……………1 ユーグレナ……………1 立川フラインド工業……………1 ベネッセコトローション……………1 ■ 建設・不動産・住宅 スターツコーポレーション……………1 大東建託……………1	八千代エンジニアリング……………1 ■ 専門サービス業 バスコ……………2 アジア航測……………1 東急コミュニティー……………1 大日本コンサルタント……………1 国土防災技術……………1 日本経済社……………1 ■ 専門サービス業(環境分野) 住友林業緑化……………2 大和リース……………1 日比谷アメニス……………1 ■ 公務 千葉県庁……………1 群馬県庁……………1 山梨県庁……………1 横浜市役所……………1 警視庁(警察官)……………1 ■ その他 日本通運……………2 日本郵便……………1 JR東日本……………1 東京急行電鉄……………1 キャノンマーケティングジャパン……………1 ローソン……………1 イオンリテール……………1 JCB……………1 J:COM……………1 イッツコミュニケーションズ……………1 NHK……………1	■ 建設・不動産・住宅 パナホーム……………3 東急コミュニティー……………3 野村不動産パートナーズ……………2 積水ハウス……………1 大和ハウス工業……………1 サンケイビル……………1 日本空港ビルデング……………1 フジタ……………1 三井ホーム……………1 スターツコーポレーション……………1 西武建設……………1 旭化成ホームズ……………1 ジェイアール東日本都市開発……………1 一条工務店……………1 住友林業ホームテック……………1 ■ 商業施設・ディスプレイ 三菱地所プロパティマネジメント……………3 丹青社……………2 スペース……………2 三井不動産商業マネジメント……………2 イオンモール……………1 ハルコ……………1 大和リース……………1 西武プロパティーズ……………1 東急モルズペロップメント……………1 セブン&アイ・クリエイティブ……………1 ハルコスぺースシステムズ……………1 住商アーバン開発……………1 ■ 運輸・製造・卸売・小売 JR東日本……………1 東京急行電鉄……………1 カブコン……………1 コマニー……………1 ユナイテッドアローズ……………1 小田急バス……………1 ■ 金融・保険業 日本生命保険……………1 芝信用金庫……………1 ■ 公務(事務・福祉・保育等) 品川区役所……………3 渋谷区役所……………2 世田谷区役所……………2 港区役所……………1 大田区役所……………1 板橋区役所……………1 台東区役所……………1 横浜市役所……………1 横須賀市役所……………1 川崎市役所……………1 三島市役所……………1 埼玉県庁……………1 神奈川県警察……………1 ■ 保育業界 保育園・幼稚園・施設等……………28 ■ その他 カルチュアコンビニエンスクラブ……………1 テイクアンドキッズ……………1 マイナビ……………1 星野リゾート……………1	

採用活動・進学スケジュール(例)

学部3年生 / 修士1年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント			●インターンシップエントリー参加				●業界研究・職種研究					
	●自己分析								●企業研究			
企業			インターンシップ ナビプレオープン	インターンシップ 説明会セミナー		インターンシップ				インターンシップ		就職ナビ グランドオープン
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)						インターンシップ					公告 国家公務員	公告 地方公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

※対象は平成30年3月以降の卒業予定者となっております。

学部4年生 / 修士2年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント		●自己分析										
		●企業研究					内定					
企業		●エントリー ●会社説明会	●採用試験				10月以降も継続して採用を行っている企業があります。 内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。					
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間 国家公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
	受付期間 地方公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
進学 (本学の場合)		大学院推薦入試 (A日程) 願書提出/試験			大学院一般入試 (B日程) 願書提出/試験						大学院一般入試 (C日程) 願書提出/試験	

本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うことと考えています。

1年生	2年生	3年生											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)											
4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム 就職支援プログラムには全学年参加可能です。			実践直結プログラム 就職支援プログラム			就職支援プログラム ・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・インターンシップのための企業説明会 ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス			公務員対策 いざ! 本番に向けて、本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI模試 ・面接・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会		
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他													

1年生	2年生	3年生											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
進路・勉強方法を考える		着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>											
4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン基礎	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン	就職支援プログラム 就職支援プログラムには全学年参加可能です。			実践直結プログラム 就職支援プログラム			就職支援プログラム ・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座 ・公務員ガイダンス ・就職セミナー			本エントリー攻略、実践対策講座 ・進路適性検査 ・SPI模試 ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・文章力強化講座・業界・会社の選び方 ・面接(個人・集団)対策講座 ・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会 ・マナー講座		
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他													

1年生	2年生	3年生											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!											
4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月: キャリアポートフォリオガイダンス(フレッシュアーズゼミと連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月/12月: キャリアポートフォリオガイダンス 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	就職支援プログラム 就職支援プログラムには全学年参加可能です。			実践直結プログラム 就職支援プログラム			就職支援プログラム ・特別講義 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座			公務員対策 いざ! 本番に向けて! 本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職講演会 ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI集中対策		
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他													

※対象は平成30年3月以降の卒業予定者となっております。

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンス(リターンガイダンス含む) 履歴書・エントリーシート対策 筆記対策(SPI、一般常識) 面接・グループディスカッション講座 				<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。 							
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 															
進路個人面談 <ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 学校推薦対象者決定 大学院進学希望調査 															
業界研究会			企業研究会	企業研究会											
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 											

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・エントリーシート対策 面接・グループディスカッション講座 学校推薦ガイダンス 				<ul style="list-style-type: none"> 進路希望登録書を元に面談 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。 							
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 論述・面接対策 公務員模擬試験 								ハローワークとのジョイント <ul style="list-style-type: none"> ハローワークの専門相談のブースを設置 							
模擬面接&グループディスカッション講座 <ul style="list-style-type: none"> 採用コンサルタントによる徹底講座 															
業界研究会			企業研究会	企業研究会											
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 											

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				トビラの向こうへ! 就職活動スタート!								内定獲得まで諦めない支援			
				保育業界採用スタート→											
いざ!本番に向けて!本エントリー攻略		公務員対策		進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> エントリーシート対策 面接対策各種集中指導 グループディスカッション対策 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 		<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・就職セミナー エントリーシート/グループディスカッション/面接対策 採用情報提供 個別面談 				<ul style="list-style-type: none"> 個別面談 個別指導 キャリアカウンターで随時相談受付 							
進路個人面談															
<ul style="list-style-type: none"> 進路に合わせて個別指導 進路希望登録書 															
業界研究会			企業研究会	企業研究会											
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 											

王禅寺キャンパスの巻

首都圏とは思えないほどの緑に包まれた多摩丘陵(川崎市麻生区)の一郭に位置する王禅寺キャンパス。ここでは、東京都市大学の原子力研究所が設置されています。同研究所は原子力の平和利用への取り組みが始まった1960(昭和35)年4月に設立。本学の前身、武蔵工業大学の時代で、私立大学として、まさに原子力研究の先駆けともいえる画期的なことでした。以来、時代に即した多彩な研究が実践されています。

原子力研究所HP <http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/index.html>



原子力研究所の歴史といま

本研究所に研究用原子炉が導入され、初臨界を達成したのは1963(昭和38)年のこと。当時は高度経済成長の中、エネルギー政策の解決手段として、原子力発電の必要性が叫ばれ始めていた時期でした。1974(昭和49)年には、放射能の性質を測定・分析する「放射化分析トータルシステム(GAMAシステム)」を完成させ、受託分析業務をスタート。さらに外来研究者にも開放し、医療をはじめ様々な分野で研究・活用を図りました。しかし、1989(平成元)年12月に冷却水漏れが発見され、2003(平成15)年5月に廃炉を決定。その後、原子炉は安全に停止され、使用済燃料は製造元の米国に返還されました。そして東京都市大学に原子力安全工学科が開設された2008(平成20)年以降は、大学との連携・協力体制を一層強化。次代の原子力技術者育成のための実践的な教育を行うほか、研究所の設備や機器のさらなる有効活用を目指し、未来に向けて走り出しています。

研究用原子炉(武蔵工大炉: TRIGA-II, 100kW)

本学が導入した原子炉は、極めて安全性・信頼性が高い米国製研究用原子炉で、原子力の平和利用に関する先端研究ならびに高度な専門技術者の教育・育成を目的に導入されました。その象徴ともいえる利用が医療用照射。1977(昭和52)年3月に第1号脳腫瘍患者の中性子捕捉療法治療が実施されて以来、原子炉が停止するまで、国内外を含めて、99件の脳腫瘍と9件の悪性黒色腫(皮膚癌)の照射治療が行われ、医学の臨床に貢献してきました。



研究用といえども、迫力満点。ここから多数の原子力技術者が巣立っていった。



自然豊かな閑静な住宅街に行む原子力研究所。



事務室の風景。ここで研究の許可申請などの業務が行われている。



原子力研究所 所長
三橋 偉司 教授

当研究所は約60年近くにわたって、原子力利用の最先端研究をリードしてきました。1970年代には中性子利用による医療をはじめ、受託分析、外部研究者への施設共用などに貢献。1980年代には研究所を基盤とする大学院を設置し、さらなる高度技術者の育成に励んできました。また、廃炉以降は福島原発事故後の分析・研究、核燃料の再処理技術の確立に取り組んでいます。さらに現在は、原子炉施設の廃止措置を継続して実践して行くと共に、小型加速器の導入など教育・研究設備の拡充を進めています。

* 徹底した安全対策

入室時には、部外者の侵入防止を目的とした管理を徹底。同時に各自が線量計を装備します。退室時にはハンド・フット・クローズモニターにより、手・足・衣服の放射能汚染を検査します。



「陸奥鉄」を利用した放射能精密測定

放射線量の測定には外部からの放射線の遮へいが必要です。その遮へい材としては鉛と鉄などが用いられますが、通常の鉄には製鉄プロセスでガンマ線の放出により破損箇所を検出するため、微量な放射性物質が混入しています。そこで研究所では、その影響を受けていない海底に沈む戦艦「陸奥」に使用された貴重な「陸奥鉄」を遮へい材として使用しています。



技士 内山 孝文 さん

私は都市大の前身、武蔵工業大学エネルギー基礎工学科の卒業生で、当研究所で卒業論文を書きました。当時の指導教授からの勧めで、本研究所に採用されました。現在は、施設管理を初め、規制監督官庁対応、さらに放射線取扱主任者という立場で、放射線等の安全取扱いについて日々監督をしております。

制御盤と模擬炉心を使用したオペレーション実習



原子力安全工学科の学生や2010年4月に早稲田大学と共同で開設した「共同原子力専攻」の大学院生が、原子炉本体以外の残された設備・機器を利用して、教育・研究に励んでいます。実際に操作演習することで、安全を確保するためにどのような工夫がされているかを体験として学びます。





研究目的に応じた設備・機器を駆使



●グローブボックスシステム

大気に触れると反応してしまうような物質を取り扱うための装置で、その内部ではアルゴンガスが循環しています。ここではウランを燃料デブリより分離する実験の模擬として、塩を閉じ込め溶融・電気分解して、ジルコニウムを取り出す実験をしています。



●蛍光X線分析装置

蛍光X線とは、ある物質にX線を照射することによって、生じる特性X線。そのエネルギーは元素に固有であるため、装置により蛍光X線を実験的に計測することで、元素の分析、元素濃度を求めることができます。



●ゲルマニウム半導体検出器

中性子放射化分析が行われなくなった今でも、ガンマ線の精密測定技術は活用されています。東京電力福島原子力発電所事故以降、環境中に放出された放射性セシウムの放射能測定を効率良く行うために、自動化測定システムを導入し、そこで得られた知見を基に地域の復興復興に役立てようという努力が続けられています。

当施設の最大のポイントは、研究と教育という表裏一体の関係から、科学的アプローチを実践していることです。原子力安全工学科の2年次から実習に活用。上級生が自ら実験し作成したプログラムを下級生に教えることで、問題解決能力やチームワークを磨きます。4年次からは卒業研究に即した利用となり、研究所内のリソースのみならず他機関の施設も最大限に活用して研究しています。「もっと研究したい」と大学院に進む学生も多く、院生の多くは国際学会で発表を行っています。



原子力安全工学科
松浦 治明 准教授



共同原子力専攻 修士課程1年の
椎名慶さん(左)と田治見 祐里さん(右)

日本では、原子力発電で発生した使用済み核燃料を再処理し、ウランやプルトニウムを回収した後に生ずる高レベル放射性廃液を、ガラスで安定的状態に固定化し、深い地層に埋設する計画になっています。私たちは、さまざまなガラスの効率性について、それぞれ違う角度から研究しています。



原子力安全工学科 4年の 原越 広輝さん

現在、卒業研究のテーマとして、放射能に汚染されたコンクリートにセシウムなどの深さまで侵食しているかを研究しています。どこまで削れば除染できるかなど、除染方法の最適化を促すためのものです。大学院へ進んで、さらに研究を深めていきたいです。

* 教育の場として

研究機関としてのみならず、実践を踏まえた教育の場としても重要な役割を果たしています。この日も、共同原子力専攻の院生や原子力安全工学科の3・4年生たちが集まり、活発に議論を戦わせていました。



* 環境モニタリング

自然界に存在する放射性同位元素を調べることで、太陽活動や広域での気流を把握する手掛りをつかむ研究を行っています。こうした研究は長期間継続することが最も重要です。



原子力安全工学科 羽倉 尚人 助教

加速器システムの構築

現在、原子炉に代わる新たな研究の柱の1つとして、現代社会の多様な場面で活躍する加速器システムの導入を進めています。例えば、健康診断などでお馴染みのレントゲン写真も、微量のX線を照射するのに加速器を利用しています。最近ではミクロの粒子を利用した放射線による「粒子線治療」が広く普及し、最先端のがん治療に用いられていますが、これも加速器に支えられています。また、物体を壊さずに「内部や表面のキズ、劣化」を調べる非破壊検査など、加速器は放射線応用技術に欠かせない存在です。武蔵工業大学OBでもある羽倉尚人助教は、「現在構築中の1.7MVペレットロン・タンデム加速器は、こうした世界への入り口」と、研究・教育での活用に意欲を燃やします。



* 受賞・認定

原子力利用の創成期から、その研究と教育に貢献してきた実績は、外部からも高く評価されています。平成21年4月に原子力歴史構築賞を受賞、平成26年9月に分析機器・科学機器遺産の認定を受けました。



分析機器・科学機器遺産



原子力歴史構築賞



原子力研究所
岡田 佳子 准教授

当研究所の大きな特色として、産学官の垣根を越えた研究が数多く生まれていることです。その1つが群馬大学、群馬県水産試験場、国立環境研究所、武蔵工業大学、そして当研究所が参加した群馬県 赤城大沼における放射性Cs(セシウム)に関する調査研究。内陸湖沼での影響調査は我が国では初、世界的にも事例が少ないため、大きな反響を呼んでいます。また、子供たちを対象とした「科学体験教室」も開催。原子力の礎となる「物理学」のアプローチで子どもたちに未来への種を植え付け、科学に興味を覚えてもらうことも重要な役割だと考えています。

学修や研究に打ち込むのは学生の本分ですが、課外活動もまた、人間形成や生涯の良き友を得るために有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「鉄道研究部」、横浜キャンパスの「ISO学生委員会」、等々力キャンパスの「児童学科学学生会」の3団体を取材。活動内容をご報告するとともに、所属する学生たちの充実したキャンパスライフをお伝えします。

世田谷 キャンパス 鉄道研究部

追っかけもいる!? 創部60周年の名門



顧問	浜村 尚樹(ナノテクノロジー研究推進センター 技術員)
学生責任者	横山 翔(機械工学科 3年)
部員数	30名
主な活動	4月 新入生歓迎会 / 運転会 5月 体育祭、新入生歓迎合宿、たまプラーザイベント参加 6月 横浜祭 8月 夢キャンパスイベント 9月 夏合宿 11月 世田谷祭 2月 卒業生を送る会 3月 春合宿、夢キャンパスイベント

3泊4日の夏合宿では貸し切り列車も運行!

鉄道好きが集まり、マニアックに情報を交換する場……。鉄道研究部と聞いてそんなイメージを抱いた人もいられるかもしれませんが、確かにそうした部分もありますが、都市大の鉄道研究部の活動はもっとアカデミックでアクティブ。そのスケールも単なる同好の士の集まりを超えています。それもそのはず、同部は2017年に創部60周年を迎えた名門。各大学に存在する鉄道研究系の団体の中でも、極めて長い歴史を誇っているのです。

普段の活動日は水曜日と土曜日の午後。世田谷キャンパスの11C教室に集まり、目前に迫ったイベントの打ち合わせや準備にあたるほか、彼らが“鉄研大学”と呼ぶ勉強会も頻繁に開催。そこでは各部員が得意分野の研究成果を、パワーポイントなどを駆使して発表します。

「もちろん合宿も年2回ほど行っています。とはいえ当部の場合、宿だけ決めて、そこに至るまでの道中は各部員の自由。一口に鉄道趣味と言っても“旅行”“模型”“写真”、さらに駅のアナウンスなどの“音”といった具合に、好きな領域は人それぞれですから。日中は各自行きたいところを回り、夜に宿でその成果を報告し合っています」(横山翔君・機械工学科3年・部長)。

そうした合宿では貸し切り列車のイベントを行うことも。「今年の夏に行った3泊4日の北東北合宿では、秋田内陸縦貫鉄道のローカル線を貸し切りしました」(村田雄大君・都市生活学科3年)。「実は貸し切りプランはいろんな鉄道会社が用意しているんです。贅沢に感じるかもしれませんが、けっこうリーズナブルで、今回も6時間の往復運行で計6万5000円。人数で割ればそんなに負担



車庫に並んだ部員たちの模型車両。半分以上の部員が鉄道模型を所有しており、イベントでは様々な車両を見ることができる



部員が“鉄研大学”と呼ぶ勉強会の風景。この日は福岡君が、日本初の冷房車両について自分なりに調査したことを報告



モーター音や発車メロディなど、鉄道にまつわる“音”が好きな大林省悟君。機関誌「スチールカー111号」の編集長を務めました。



熊谷幸倫君は、“撮り鉄”にして“模型鉄”。じつはバスも大好きで、夏合宿の際も一人で路線バスの写真を撮りまくっていたそうです。



北條尚史君は、模型も好きだけれど、基本的には“乗り鉄”。早く着くことより、できるだけ長く乗ることを優先し、旅行では鈍行を常に選択。



2017年の鉄道研究部を部長として力強く牽引した横山翔君。じつは中学・高校も鉄道研究会に所属していたそう。得意ジャンルは模型と撮り。



福岡悠斗君は前部長。模型が専門ながら、海外、とくに台湾の鉄道に詳しく、現地資料にあたるうちに台湾語も多少こなせるようになったとか。



“乗り鉄”にして“録り鉄”な村田雄大君。限られた列車の発車メロディを求めて、授業が終わったその晩に宇都宮まで遠征したことも……。



佐藤彰馬君は模型と写真の両方が趣味。写真の腕前は誰もが認めるところで、下で紹介した「スチールカー111号」の表紙写真も彼の作品です。



鉄道研究部60周年記念列車「NO.DO.KA」。2018年1月引退のカーペットカーを貸し切り、上野～越後湯沢間を往復

も大きくありません」(大林省悟君・都市工学科2年)。

圧巻のジオラマ展示は各鉄道イベントにひっぱりだこ

都市大の鉄道研究部には先輩から代々受け継ぎながら改良を重ねてきた、Nゲージ模型用の巨大ジオラマがあります。これを、部員が撮影した鉄道写真や貴重な資料などとともに世田谷祭で展示するのは同部の伝統行事。いつも大変好評を博していますが、最近ではこうした展示イベントを、ときにOB会と連携しながらキャンパス外でも積極的に実施しているようです。

なかでも大きなものが、東急百貨店たまプラーザ店にて行われる「たまプラーザ トレインパーク」での展示です。これはゴールデンウィーク時期に開催される鉄道ファンのためのイベントで、鉄道研究部は第一回目の2014年より参加。自慢のジオラマを使って東急各線車両模型(部員たちの持ち寄り!)の運転体験会なども催され、毎回来場者に大人気です。

「最近では、二子玉川の夢キャンパスでも当部主催の鉄道イベントを年2回行っています。そちらではジオラマ展示のほか、お子様対象の塗り絵やペーパークラフトも用意し、親子連れに喜ばれています」(福岡悠斗君・建築学科3年・前部長)。「実は鉄道好きのお子さんを持つママさんたちの間で当部はけっこう有名。“追っかケ”もいるんです」(佐藤彰馬君・都市生活学科2年)。

このほか2017年は、三菱みなとみらい技術館の企画展や、等々力陸上競技場にて川崎フロンターレの主催試合に合わせて開催されたイベントにも参加。「他大学の鉄道研究部から、うちほど精力的に活動している団体はないと羨ましがられます」(北條尚史君・機械工学科1年)。「東急電鉄をはじめ大企業と関わるイベントが多いため責任は重大ですが、それだけ大きな達成感が得られます」(熊谷幸倫君・機械工学科1年)。

最後に次期部長である大林君が次のように締めてくれました。「今日の鉄道研究部があるのは、歴代の先輩たちがレールを敷いてくれたから。じつは当部OBには鉄道会社や車両メーカーの重鎮がずらり。有名な鉄道写真家・長根広和氏、さらに現在顧問を務める浜村尚樹先生(ナノテクノロジー研究推進センター)もうちのOBです。そんな素晴らしい先輩方が築き上げた部の歴史を守りつつ、僕らなりにさらに発展させていきたいですね」。



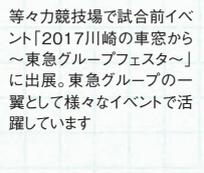
都市大鉄道研究部が発行する伝統の機関誌「スチールカー」。最新号で111号を迎えました。本物の雑誌顔負けの充実した内容です



鉄道研究部60周年記念列車。雪が谷検車区から池上線、目黒線、大井町線、田園都市線を通り終着長津田で車両工場を見学しました



毎年大人気のイベント、東急百貨店「たまプラーザトレインパーク」。ゴールデンウィーク中なので、連日沢山のお客さんたちで賑わいます



三菱みなとみらい技術館「はたらりのりものコレクション」の企画展に初参加。期間中は大盛況で、今までの企画展の中で一日の最多入場者記録を更新!



ISO学生委員会

我が「エコ・キャンパス」の守り人



顧問
北村 巨 (環境創生学科 講師)
学生責任者
松浦 直花 (環境マネジメント学科 3年)
部員数
36名(男子部員27名、女子部員9名)
主な活動
4月 新歓、説明会
5月 環境月間、グリーンカーテン
6月 勉強会、グリーンカーテン
7月 エコキャンパスツアー
8月 エコキャンパスツアー
10月 環境ISOフォーラム
12月 エコプロダクト、エココンキャンドルナイト、リリパック回収イベント
1月 リリパック回収イベント
2月 環境講座

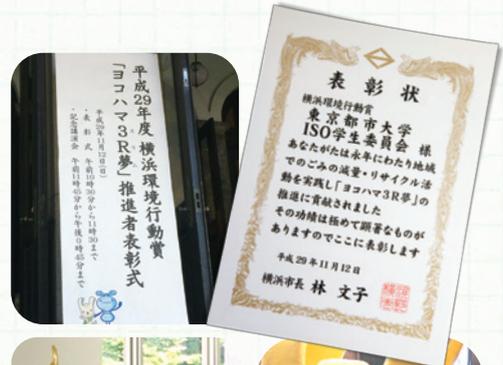
4つの部会に分かれて組織的に環境活動を推進

横浜キャンパスは1998年に日本の大学で初めて国際環境規格であるISO14001を取得し、以来現在まで継続して認証され続けています。「ISO学生委員会は、こうした「エコ・キャンパス」の素晴らしさを守るべく発足。メンバーは、普段は所属部会ごとに分かれて活動しています」と語るのは、2017年度の部長としてISO学生委員会を牽引した松浦直花さん(環境マネジメント学科3年)。高校のときから環境問題に関心があったそうです。

なおISO学生委員会の部会には「環境教育部会」「省資源部会」「省エネルギー部会」「環境管理部会」があり、どこに所属するかは学生が自分の意思で決めます。学生たちにそれぞれの主な活動内容を簡単に説明してもらいましょう。「環境教育部会は全学生に、より高い環境意識を育むことを目的に活動しています。とくに新入生教育に力を注いでおり、新入生ガイダンスの際にはISO14001とは何か、そしてそれに対する本学の取り組みなどを説明。オープンキャンパスのときのエコ・キャンパスツアーや、都筑区と連携して近隣の中学や高校の生徒に向けての環境講座も積極的に行っています」(細谷将太郎・情報システム学科2年)。「省資源部会は、大学内におけるゴミの3R活動(リデュース=減らす、リユース=繰り返し使う、リサイクル=再資源化)を推進。ワクチンを寄付するためのペットボトルのキャップ回収活動や、学内のゴミの分別状況調査なども行っています」(坂本真緒さん・環境マネジメント学科2年)。「省エネルギー部会の目的は、学生に省エネ意識を持たせることです。夏に向け図書館前にグリーンカーテンを作ったり、12月のキャンドルナイトを主催しているのも我々の部会です」(廣木亮哉君・環境創生学科1年)。「環境管理部会は、ISO学生委員会の日頃の活動内容を記録し、評価する部会。委員会内の勉強会なども主催します。じつは現在、活動が停滞ぎみで、立て直しが迫られています(笑)」(松浦さん)。



主催する「ISO環境フォーラム」は今年で19回目を迎えました



同団体の3R活動は横浜市からも表彰されました。左下写真の「3R夢(スリム)戦隊シボレンジャー」の正体は、じつはメンバーの川島くんという噂も……



毎日の通学のモチベーションを高めるために同団体への入会を決めたという小林春貴君。ISO環境フォーラムでは司会の大役を務めました。



川島裕一郎君(環境創生学科2年)は、せっかく環境学部に入ったんだから、学ぶだけでなく行動したいと考えて入会。省資源部会のヒーローです。



部長を務める松浦直花さん。ももとの引っ込み思案な性格はどこへやら、その責任感の強さから今では全メンバーが最も頼りにする存在です。



高校のときに某大学の環境講座に通ったほど、もともと高い環境意識を持つ廣木亮哉君。会での活動の成果は、大学での研究にも繋げたいそう。



他大学にも環境系団体はいっぱいあるけど、ここまで精力的に活動している団体は珍しいはずと語る坂本真緒さん。省資源部会のエースです。



横浜キャンパスには意外と環境に無頓着な学生も多いことに気づき、彼らを啓蒙すべく入会を決めたという鈴木亮君。見かけ以上に熱い男です。



環境学部が大半を占める中、存在感を示していた細谷将太君。会での仕事は情報発信的な役割が多いため、大学での学びともリンクするとか。



本多弘岳君(環境創生学科1年)はフードメーカー。入会して環境意識が高まったのに加え、いい友達と出会えたのが何よりの財産と言います。

さらに部会にはもうひとつ、各部会の有志による「ISO広報部会」があります。ここでは彼らの日々の活動を年2回発行の新聞「ISOタイムズ」のほか、ツイッターなどでも生き生きとご報告。興味のある方はまずはISO学生委員会のHP (<http://www.yc.tcu.ac.jp/~isosc/>) にアクセスしてみてください。

総力を結集するイベントで個々もぐっと成長

基本的に部会ごとに活動しているISO学生委員会ですが、学祭や学外のさまざまな環境イベントへの参加など、年に何度かは総力を結集して行うイベントがあります。そのうち最も重要なものが、横浜キャンパスにて同団体主催で行う「環境ISOフォーラム」です。横浜キャンパスや同団体の一年間の環境活動を報告するほか、環境講座や著名人を招いての講演会など盛りだくさんの内容となっています。第19回目となる17年度は、「ミライをそうぞうしよう 想像×創造」をテーマに平成29年10月28日に開催。講演者には環境エネルギー政策研究所の理事である松原弘直氏を招き、会場となった3号館大教室が満員となるほどの大成功を収めることができました。

「フォーラムでは、講演を行う方はもちろん、本学の先生方とも何度も打ち合わせしなければなりません。そういう正式な交渉ごとなど今まで一度もやったことがないので、とても勉強になりました」(鈴木亮君・環境創生学科1年)。「僕は司会を担当。昔から人前で話すことが得意でないため、最初は足がガクガクでしたが(笑)、先輩のアドバイスを思い出してなんとか乗り切れました」(小林春貴君・環境創生学科1年)。

このようにISO学生委員会には、日々の地道な環境活動の一方、学内外のしかるべきセクションと折衝したり、大勢の人の前で説明や発表を行ったりという場面が多くあります。「みんな純粋に環境に対しての問題意識から入会していますが、おそらく社会に出たときに必要とされるスキルも、うちの団体に入れば自然に鍛えられるような気がしています」(松浦さん)。

その言葉通り、今回の取材でもメンバーの皆さんは非常に堂々と、自分たちの活動内容とその意義について説明。こうした能力は就職活動の際にも大きなアドバンテージとなるでしょう。エコ・キャンパスの学生側代表としての彼らの活動は、しっかり自分たちを磨く場にもなっているようでした。



メンバーがガイドを務めるエコ・キャンパスツアーのリハーサル風景



グリーンカーテンの制作風景。今年はゴーヤがいっぱいになりました



校内のゴミの分別状況を調べるべく、月に一度、混在率調査を行っています



校内のゴミ箱に貼られる分別用のラベルもメンバーたちのお手製。定期的に取り替えています



回収したペットボトルのキャップは、世界の子供たちにワクチンを寄付しているボランティア団体に譲渡。今年の方は約604人分のポリオワクチンになりました

等々力
キャンパス

児童学科学生会

学生相互の信頼と連携を深めて学生生活を豊かに



顧問

井戸 ゆかり (児童学科 教授)

学生責任者

小島 南奈子 (児童学科 2年)

部員数

46名(男子部員19名、女子部員27名)

主な活動

4月 フレッシュヤーズキャンプ、新入生交流会
履修相談コーナー

6月 新入生歓迎会、オープンキャンパス

8月 オープンキャンパス

9月 履修相談コーナー、等々力祭準備

10月 等々力祭

12月 クリスマス会

3月 卒業生を送る会、フレッシュヤーズキャンプ準備

チームワークや連携の大切さを学内イベントから学ぶ

学生生活を充実させるための意見収集や大学側との協議、さらに他団体へのサポートと、児童学科の学生代表として多彩な活動を行う児童学科学生会。高校までの生徒会と異なり、活動の多くは学生主導で行われています。たとえば等々力祭や新入生歓迎会といった一大イベントも、都市生活学科学生会と連携しながら、企画立案から運営、そして大学側との調整などを、メンバー全員が協力し合って進めていきます。

「今年度からは6月と8月の『オープンキャンパス』にも、児童学科学生会として活動することに。今まで以上に企画から運営までの全てを学生主体で考えなければならない特別な活動でした」(渡邊桃子さん・児童学科3年)。

オープンキャンパスとは、ご存じの通り、大学への入学希望者に対して施設内を公開し、学校への関心を深めてもらうためのイベント。児童学科学生会には学部学科紹介パネルの展示をはじめ、キャンパスツアーや絵本の読み聞かせ公開など、多岐な役割が与えられました。

とはいえ6月は、児童学科の3年生たちが「保育実習」を控えた大切な時期。保育者に求められる知識や技術を実践から学ぶ保育実習は、保育士などの資格取得に必須なだけでなく、社会に出るための基礎力を身につけるためにも非常に重要な機会です。「保育実習は職場に身を置くこともあって、精神的にも追い込まれることが多々あります。メンタルはもちろん、時間的余裕もなくなってしまったので、残念ながらオープンキャンパスの準備には一切関われませんでした」(湯川夏理君・児童学科3年)。「そんな時に、都市生活学科学生会のメンバーたちが、利用施設の調整や連絡事項の伝達など、多方面からサポートしてくれました。そのお陰もあって、学生主体で開催された初のオープンキャンパスを無事やり遂げることができました。もちろん後輩たちにも大感謝です」(渡邊さん)。



等々力祭で万華鏡作りのワークショップスペース脇に設けられた子供たちの遊び場。風船を使って子供たちの遊び相手を務める学生たち



学生たちは等々力祭に参加した保護者や子どもたちとの触れ合いを通して、保育と子育てで支援を学びます



渡邊桃子さんは、学生会の前会長。インカレサークルの書道部にも所属。会長のバトンを受け渡した今も、メンバーからの厚い信頼は継続中です。



湯川夏理君。学生会の会計を担当する傍ら、世田谷キャンパスで活動するサッカー部のキャプテンも兼務。サッカー歴12年を誇る手堅い男。



伊藤一道君は、学生会の副会長。学生会のイベント情報や活動内容を外部へ発信する役割で脇をしっかり固めます。縁の下の力持ち的な存在。



子育て支援センター「びび」での絵本の読み聞かせも人気です



絵本の読み聞かせサークル「児童文化研究会 ぼっけ」の会長としても活躍する塩崎晃人君。その実践的な活動は大学からの評価も高いとか。



小島南奈子さんは学生会の現会長。バスケボールサークル「Buzz」にも所属。素直で明るい性格でリーダーシップを発揮。今後の活躍に期待。



オープンキャンパスでは沐浴体験コーナーもあり、学生たちが手順を丁寧に説明

一昨年の等々力祭では、ハロウィンの時期が近かったこともあり、来場者参加型の企画を行いました

学生会ならではの情報共有と情報発信を！

2017年度の児童学科学生会には女子27人、男子19人が所属しました。児童学科全体の学生は女子が9割を占めることを考えると、同会の男子比率は異常なまでの高さといえるでしょう。「今の3年男子に限っては10人中7人が学生会のメンバー(笑)。じつは最初はもっと少なかったのですが、途中からどんどん入会してきたんです(湯川君)。「普通に学生生活を送っているだけではタテの繋がりができ難いですからね。特に児童学科は、保育実習があるため、それに備えてみんな先輩から情報収集したいんです。その方がよりリアルで役立つ内容が多いので。就職に関する情報も、OBやOGから収集できるのはアドバンテージです(塩崎晃人君・児童学科3年)。「3週間にも渡る実習もあるので、事前に少しでも具体的な情報を収集しておいた方が不安も解消されますから(伊藤一道君・児童学科3年)。同じ学科で、将来の目標も同じ仲間同士での情報共有。児童学科学生会にはそうしたメリットもあり、学生たちはそこにサークルや部活動とはまた違った魅力を感じているようです。

ちなみに2017年の児童学科学生会は、10月にも新たな取り組みを行い、話題を集めました。「米・カリフォルニアで音楽教育の手法の一つとして始められたETM (Education Through Music)と呼ばれる総合的な教育プログラムがあります。二子玉川の夢キャンパスで、これをメインに据えたワークショップを行ったんです(渡邊さん)。

「児童学科に興味を持っている高校生や保育士を目指している方など、予想を上回る数の人たちが集まり、それぞれメモを取りながら熱心に参加してくださいました。今後も学生会の恒例行事として継続させていきたいと思えます(小島南奈子さん・児童学科2年)。「最初は、子供たちと歌やゲームで触れ合うことへの気恥ずかしさもありましたが、先生をはじめ、ご父母の皆さんたちとも大人目線で子供たちの遊びについて真剣に語り合えたことがとても嬉しく、印象に残りました(伊藤君)

新たに生まれた児童学科学生会主体の社会貢献活動。この小さな芽が、どんな色の花を咲かせていくのか、今後も彼らの活動から目が離せません。



児童学科学生会のメンバーが集まり、学園祭へ向けてミーティング



夢キャンパスで開催されたETMプログラムを取り入れたワークショップでは、学生たちが主体となって、積極的に活動します



大変なこともあったけど、楽しいこともたくさんあった一年の活動を振り返る忘年会では、自然に笑顔がこぼれます

第88回 世田谷祭

よりよい学園祭とするために

第88回 東京都市大学 世田谷祭 実行委員長 窪倉 直人
工学部 エネルギー化学科 3年

今年は「ContiNew」という“続ける”と“新しい”を合わせた造語をキャンパステーマとし、改善して続けていくことと新しいことの両方を大事に準備してきました。

大きな試みとして、前回まで世田谷祭と等々力祭でキャンパスごとに作成していたパンフレットを今年から合冊化しました。例年同日開催となっていました。この取り組みによって東京都市大学という一つの大学の学園祭であるといった繋がりが明確になったと思います。一つのパンフレットになったことで、両キャンパスを歩き来ていただいた方にとっては大変便利になったのではないかと思います。

また、昨年からの企画である「都市大Expo」はコンビニエンスな内容を用い、来ていただいた方の身近なテーマを取り上げることで昨年より興味を持ってもらいやすく楽しめたのではないのでしょうか。カラテカ入江さんをお呼びして行っていただいたトークショーは「社会に活かせるコミュニケーション術」ということで、主に今後社会で活躍する学内生をはじめとした多くの学生にとってためになるお話であったと感じています。今年は企業の方にも出展いただき、アカデミックさがより濃くなったところも特徴的でありました。

節目となる第90回の世田谷祭に向け、あと2回となった今年の世田谷祭でしたが、当初は今回の世田谷祭に向け掲げる目標がこれと言って見つからず不安もありました。しかし、準備をしていくに連れて、今年の世田谷祭は第90回の土台となる大変重要な年であると感じました。また、自分らで決めたテーマである「ContiNew」を改めて思い直すことでやりがいを感じることもできました。

次年度は節目となる年の最後の仕上げの年になります。節目の準備だけでなく第89回という唯一の世田谷祭でもあります。次代の学生が創り上げるこの世田谷祭に乞うご期待です。

第9回 等々力祭

新しいことへの挑戦

第9回 東京都市大学 等々力祭 実行委員長 西 琴美
都市生活学部 都市生活学科 3年

平成29年度第9回東京都市大学等々力祭は「NEXT→」をテーマとし、今まで皆様にご覧いただいた等々力祭とはまた別の一面をお見せするために、様々な新しいことに挑戦してきました。今年度は11月4日、5日に等々力祭が開催され、当日は天候に恵まれたこともあり例年を上回る大変多くの方にご来場していただき大盛況となりました。

今年度の目玉企画では、シンガーソングライターの杏沙子さんをお呼びし、美しい歌声が会場を包み込み素敵なおライブとなりました。また、今年度は初めて地域のキャラクター「オッポン」と「とどろッキー」にも来ていただき子どもたちも大喜び。より等々力・尾山台を身近に感じる機会となったことでしょうか。

その他の企画として、例年行っている「大風船祭り」「キッズパーク」「Aloha Café ~Magic~ in Todoroki」に加え「アートメイク工房」「ADVENTURE OF RUINS」などの新企画も加わり多くの方に参加していただきました。また今年度からの試みとして模擬店の1番人気を決める「模擬店グランプリ」も行いました。

企画だけでなく、研究室展示では多くの研究室の先生・学生にお手伝いいただき、より詳しく普段学生が学んでいる内容をご覧いただける機会となりました。

改めて、今回第9回等々力祭を開催するにあたり、ご協力いただきました大学関係の皆様・地域の皆様・企業の皆様・模擬店教室参加団体の皆様・上部特殊団体の皆様、多くの方のご協力により等々力祭は成功を取ることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。またご来場いただいた皆様、大変ありがとうございました。

来年度も後輩たちが新しいことに挑戦し、来年度ならではの等々力祭を作っていくことと思います。さらに来年度は第10回と節目の年となり盛大な等々力祭になることでしょうか。今年度とはまた違った一面をお見せできることと思いますので、来年度も皆様のご来場を心よりお待ちしております。

課外活動短評

- 剣道部 第63回 春季関東理工科系学生剣道選手権大会において 32団体中 第3位
第65回 全日本学生剣道選手権大会において 五十嵐玲音さんが個人戦出場
- バドミントン部 平成29年度 関東大学バドミントン春季・秋季リーグ戦において
・春季 男子:4部 第4位/女子:5部 第3位 ・秋季 男子:4部 第3位/女子:5部 第2位
- 卓球部 平成29年度 秋季・関東学生卓球リーグ戦において
男子団体 5部 第1位 4部昇格/諏訪正頼さんが殊勲賞受賞
- 空手道部 国際松濤館空手道連盟 第37回 全国空手道選手権大会において
一般団体組手の部 第3位/鎌田隼人さんが一般男子有級個人組手の部 第2位/清水杏菜さんが一般女子有級個人組手の部 第1位
- 陸上競技部 第49回 関東理工系学生対校陸上競技大会において
藤本康太さんが男子200m 45名中 第3位/坂本優さんが男子やり投 15名中 第1位
- バスケットボール部 第93回 関東大学バスケットボールリーグ戦において
宇都宮優喬さんが4部リーグ アシストランキング 第1位
- ハンドボール部 関東学生ハンドボール連盟2017秋季リーグ戦において
田中雄大さんが男子 3部 得点王

世田谷祭



等々力祭



バンドフェスティバル

例年を超える盛り上がりをもせたバンドフェスティバル

平成29年度 文化団体連合会 本部長 武藤 大紀
工学部 原子力安全工学科 3年

10月7日(土)に渋谷にあるライブハウス、「LIVE STAGE GUILTY」にて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルを開催いたしました。

バンドフェスティバルは東京都市大学文化団体連合会所属の軽音楽団体、計6団体より1~2組選出されたバンドによる合同ライブイベントです。今年は計11組のバンドが出演し、日頃の練習の成果を発表しました。

バンドフェスティバルは、各軽音楽団体の練習の成果を披露することで、他団体の活動をより深く理解し、交流をすることで各団体の活性化につなげることを主な目的としています。さらに11月に行われる世田谷祭の野外ステージで行われるライブへ出演する団体の選出を行う場でもあるため、軽音楽団体主催の合同ライブに比べ出演バンドの完成度や緊張感が一味違ったものになっています。

審査の基準は演奏技術のほかに、ライブを盛り上げるパフォーマンスやMCなども含まれており、各バンドの個性を生かしたユニークな演出がみられました。演奏した楽曲もアコースティック調のゆったりした楽曲から激しいメタルまで幅広く、終始、目を離すことができない内容になっていました。

また、今回は出演バンドのレベルが高く、上位はかなりの接戦となり、例年を超える盛り上がりを見せました。

来場者は200人にもものぼり、大盛況でバンドフェスティバルを終えることができ嬉しく思います。今後も次の代への反省や引き継ぎをしっかりと行い、文化団体の活動をより活発にできるよう精進してまいります。今後ともバンドフェスティバル、並びに文化団体連合会をよろしくお願いいたします。



事務局便り

後援会会員の皆様には、日頃より大学行事、課外活動に対して多大なるご理解とご支援を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。東京都市大学は大学改革の中にあり、様々な取り組みをさせて頂いております。中でも、学生の皆さんに直接かわかる後援会活動は、大学のブランドを上げるためにも、大変重要な位置付けを持っており、29年度は佐々木勝久新会長のもとに組み組みを行っております。

「大学と保護者との連絡会」は今年度も本学会場に加えて全国17会場で開催され、昨年同様多くの保護者の皆様

方とのコミュニケーションを図ることができました。大学からは近況説明から、学生のキャリア支援に至るまで多くのトピックのご報告を、皆様からは就職、成績、学生生活への関心の高さを頂きました。多様なプログラムが立ち上がった東京都市大学における学生の将来像を共有することができたのではないかと感じており、大変嬉しく存じます。

以前にも増して、学生の皆さんの活動、支援、そして、新しい時代のために貢献する人材を輩出するように教育並びに指導を行ってまいりますので、皆様からの有意義なご意見を頂くとともに、今後も引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。



等々力キャンパス副学生部長
都市生活学部
都市生活学科 教授
川口 英俊

◆◆平成29年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成29年度の「大学と保護者との連絡会」は9月2日(土)から始まり、最終日の10月7日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月 2日(土)	札幌全日空ホテル	13
仙台	9月 3日(日)	ホテルメトロポリタン仙台	22
郡山	9月 2日(土)	ホテルプリシード郡山	12
宇都宮	9月 9日(土)	チサンホテル宇都宮	20
水戸	9月 9日(土)	三の丸ホテル	33
さいたま	9月 9日(土)	ラフレさいたま	20
高崎	9月 2日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	21
新潟	9月 3日(日)	ホテルオークラ新潟	12
世田谷	10月 7日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	869
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	156
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	211
甲府	9月10日(日)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	5
長野	9月 9日(土)	ホテルメトロポリタン長野	7
富山	9月10日(日)	ANAクラウンプラザホテル富山	4
沼津	9月 2日(土)	ホテル沼津キャッスル	26
静岡	9月 3日(日)	ホテルアソシア静岡	29
浜松	9月 2日(土)	オークラアクティシティホテル浜松	23
名古屋	9月 3日(日)	ホテルキャッスルプラザ	12
広島	9月 9日(土)	ANAクラウンプラザホテル広島	10
福岡	9月10日(日)	ホテルモントレラ・スール福岡	16
合 計			1,521

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	17	7
青森	1	2
岩手	1	2
宮城	20	19
秋田	1	3
山形	2	2
福島	17	12
茨城	55	68
栃木	29	35
群馬	26	25
埼玉	66	91
千葉	51	52
東京	322	338
神奈川	717	648
新潟	16	18
富山	3	6
石川	2	1
福井	0	1
山梨	10	16
長野	18	15
岐阜	1	1
静岡	93	89
愛知	12	12
三重	3	4
滋賀	0	0
京都	2	0
大阪	1	0
兵庫	0	1
奈良	0	0
和歌山	1	0
鳥取	0	0
島根	0	1
岡山	0	0
広島	12	9
山口	0	0
徳島	0	0
香川	2	1
愛媛	1	0
高知	2	1
福岡	13	11
佐賀	0	1
長崎	3	2
熊本	1	0
大分	0	1
宮崎	0	1
鹿児島	0	1
沖縄	0	0
合 計	1,521	1,497

TCU-COM
2018.January

no.
57

発行・連絡先 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2227 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp